

## 第 44 回すいとびあ江南運営委員会会議録

日時 令和 2 年 11 月 13 日（金） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分

場所 すいとびあ江南 2 階 大広間

委員出席者 青山英明、石川勇男、大藪豊数、佐々木孝司、鶴見壽子、  
永井則夫、永井皓、森川公嗣 計 8 名

指定管理者出席者 2 名

資料① ・すいとびあ江南利用状況について（平成 30 年度～令和 2 年度の 4 月～9 月）

・地域別宿泊室利用人数（平成 30 年度～令和 2 年度の 4 月～9 月）

・地域別宿泊室利用室数（平成 30 年度～令和 2 年度の 4 月～9 月）

資料② ・令和 2 年度すいとびあ江南来館者アンケート集計シート（4 月～9 月）

資料③ ・令和 2 年度すいとびあ江南のふるさと文化育成等事業について（4 月～9 月）

### 1. 委員長あいさつ

### 2. 議題

(1) すいとびあ江南の利用状況（令和 2 年度中間報告）について

議 長 指定管理者に説明を求める。

指定管理者 資料①に基づいて説明する。

委 員 9 月 19 日から Go To トラベル事業の取り扱いを開始しているが、その利用状況はどうか。

指定管理者 Go To トラベル事業については 9 月 13 日に、地域共通クーポンについては 9 月 18 日に、Go To トラベル事務局より承認をいただいた。地域共通クーポンは 10 月 1 日からの取り扱いになるが、Go To トラベル事業については、インターネット予約のための環境整備を行い、すいとびあ江南としては、9 月 19 日より取り扱いを開始した。Go To トラベル事業の利用により、9 月は約 9 万円、10 月は約 190 万円の売上をあげているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、団体による宿泊利用、宴会を伴う宿泊利用、法人による研修室利用の獲得に苦戦している。また、Go To トラベル事業の対象である、プレミアムパックとデラックスパックは、贅沢なプランがお得に宿泊できることから、予約が増えているが、エコノミーパック

		<p>やスタンダードパックの予約は減少している。本来であれば、10月は旅行シーズンであるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、旅行を自粛していることや、Go To トラベル事業を活用するけれども高級ホテル等に宿泊している状況が推察される。</p>
委員	<p>今年の8月以降、大野極楽寺公園や伊木山フォレストのバーベキューの利用状況は好調だったと聞いている。すいとびあ江南にバーベキュー場を設置する検討状況はどのようなのか。</p>	
指定管理者	<p>インターネットで、バーベキュー場の利用者が新型コロナウイルス感染症に感染している記事を見かけたため、慎重に検討を進めていた。バーベキュー場を設置する場所は、テニスコート東側の花壇を候補地として検討している。屋根付きのバーベキュー場という意見もあったため、木造の屋根の設置を検討しているが、概算で約450万円の整備費用がかかる。不燃材の屋根にすると、約900万円の整備費用がかかる。また、3メートル四方のスペースを2カ所、設置できる見込みで、洗い場は含まれない。バーベキュー場の設置には大きく費用がかかることになるので、委員のご意見を伺いたい。</p>	
委員	<p>江南市内のバーベキュー場としては、江南緑地公園と忠平猿尾多目的広場があり、他にも、フラワーパーク江南の2期エリアの工事において、バーベキュー場の設置が計画されていると聞いている。オール江南で考えると、有効な資源が既にあるので、今後、フラワーパーク江南等と連携して、イベントを実施する方が効果的ではないか。</p>	
委員	<p>すいとびあ江南で検討しているスペースについて、1カ所につき何名利用できるのか。</p>	
指定管理者	<p>1カ所につき、5人から10人ほど利用できると想定している。</p>	
委員	<p>バーベキュー場の利用者が新型コロナウイルス感染症に感染した話は知っているが、設置できない理由を述べてもキリがない。江南緑地公園や忠平猿尾多目的広場でバーベキューができること、フラワーパーク江南の2期エリアの工事において、バーベキュー場の設置が検討されていることも把握しているが、すいとびあ江南でのバーベキューにこだわる理由は、場所を貸すだけでなく、食材の提供をするためである。江南市内に、食材の提供をしているバーベキュー場が無いので、手ぶらでバーベキューが利用できる場所が1カ所はあっても</p>	

- いいと思う。また、屋根の設置についてはこだわっていない。2つのU字溝と椅子を設置するだけで、ある程度キャパシティを確保できるのではないかと考えている。食材を提供できるバーベキュー場の整備を是非とも、前向きに考えて欲しい。バーベキューのシミュレーションも行ったと聞いたが、結果はどうだったのか。
- 指定管理者 候補地として考えているテニスコート東側の花壇付近で、肉を焼いて、どれだけ匂いや煙が出るかについて、確認した。宿泊室の窓を開けて確認したが、ある程度離れた部屋でも、風向きによっては匂いを感じた。宿泊室の利用者がどのように感じるのか、懸念される。
- 委員 異臭、悪臭なら話は別だが、美味しい匂いであれば、問題無いのではないか。また、バーベキューをする時間帯に宿泊室に利用者が滞在していることは稀なのではないか。今後、さらに前向きに考えてほしい。
- 委員 石灰で10メートル四方に区切り、その近くに簡易的な手洗い場を設置し、この10メートル四方の区切りの中でならバーベキューができるという許可だけをとる形でも良いと思う。石灰だけなら撤去も簡単であり、一時的に実施しやすいのではないか。
- 委員 すいとぴあ江南にバーベキュー場を設置することは、慌ててやるものではない。市内に食材の提供ができるバーベキュー場を設置できたらいいと思うが、なぜ、すいとぴあ江南に設置するのか分からない。すいとぴあ江南をどのような場所にしたいのか、どのようなコンセプトで運営していくのか、総合的に考えて、バーベキュー場が必要かどうか、皆で合意をしながら進めていくべきだと思う。
- 委員 売上向上なのか、集客なのか、話題づくりなのか、バーベキュー場設置の目的が分からない。指定管理者が試算した金額であれば、実施しない方がいいと思う。バーベキュー場設置のためには、設備投資が発生し、オペレーションに係るノウハウや人件費も必要になる。例えば、11月8日に実施した、ふるさと文化育成等事業は、10万円しか費用をかけていないが、約2千人の来場者があった。同様のイベントについて、年2回、フラワーパーク江南でも開催しているので、今後は、フラワーパ

- 委員 委員 一ク江南と連携したイベントを開催することも考えている。すいとびあ江南は、江南市公共施設再配置計画の中では廃止する方向で計画されている。バーベキュー以外の方法でも存続に繋がるのであればいいと思う。すいとびあ江南は、江南市のシンボルにもなっているが、無くなってもいいのか。
- 委員 江南市公共施設再配置計画の中では廃止で検討となっているが、まだ廃止と決まったわけではない。そもそも、すいとびあ江南は、勤労会館と宿泊施設の複合施設であり、木曾川という母なる川等の資源を活かして、江南市をPRしていくという目的で建てられたものである。すいとびあ江南の存続についての議論としては、バーベキュー場の設置に集中しすぎているのではないか。
- 委員 令和5年度末をもって、すいとびあ江南を廃止するかもしれないという問題が未だに解消されておらず、バーベキュー場を設置したところで、この問題の解決にはならないのではないか。江南市から、正式に存続するという結論が出てからの話だと思う。
- 議長 まだ議題（1）なので、全ての議題が終わってから、「その他」の中で、この続きを議論してはどうか。

(2) 利用者からの意見等（令和2年度中間報告）について

- 議長 指定管理者に説明を求める。
- 指定管理者 資料②に基づいて説明する。
- 委員 客室のトイレは、全室ウォシュレットになっていると思うが、他のホテル等で故障している事例がよくあるので、定期的な点検をしてほしい。

(3) すいとびあ江南のふるさと文化育成等事業（令和2年度中間報告）について

- 議長 指定管理者に説明を求める。
- 指定管理者 資料③に基づいて説明する。
- 委員 これまで具体的に企画したが、最終的に断念したというイベントがあれば、教えてほしい。
- 指定管理者 去年から実施している「鮎の放流」が挙げられる。去年は、すいとびあ江南近くの小学校からマイクロバスで参加してもらっていたが、今年は、新型コロナウイルス感染症が感染拡

- 大している時期だったため、保護者が子どもを参加させることについて心配していた。小学生をグループ分けして、マイクロバスを何往復もさせることや、保護者に送迎してもらうことも難しいため、担当者も頭を悩ませていた。最終的には、小学校から中止の要請があり、イベントの実施を断念した。
- 委員 ZOOM等のリモート機能を活用したイベント等は、検討したのか。
- 指定管理者 検討していない。「鮎の放流」の実施予定だった5月は、新型コロナウイルス感染症が感染拡大中だったため、まずは感染を拡大させないことを重視していた。
- 委員 来年度は、社会情勢を踏まえた上で、実施できるイベントを検討してほしい。
- 委員 新型コロナウイルス感染症の感染拡大中だからこそできる、新しいことを考えてきた。例えば、8月に実施した「夏の天体観測教室」では、例年、大広間で実施しているが、今回は屋外でプロジェクターを上映する等、目新しさを出して喜んでもらおうと考え、実行した。
- 委員 フラワーパーク江南とも連携しながら、色々な事業を企画してほしい。
- 委員 10月に、ふるさと文化育成等事業として、よさこいのイベントがあったが、草井の住民は、このイベントのことを知らない人が多かった。どのように宣伝したのか。
- 委員 よさこいのイベントに関しては、元々、3団体が参加する小規模なイベントだったが、SNS上で宣伝したところ、出演希望の団体が殺到し、最終的に12団体が参加する大規模なイベントになった。新型コロナウイルス感染症の影響で、急きょ決定したイベントだったこともあり、広報こうなんの掲載には間に合わなかったが、館内の張り紙や、SNSを活用して宣伝した。次回以降は、計画的に実施し、広報こうなん等で周知していきたい。

### 3. その他

- 議長 議題(1)の議論を再開し、事務局にその他の報告を求める。
- 委員 事務局に対して、すいとぴあ江南の江南市公共施設再配置計画の位置付けについて、現時点では、どのような状況になっているのか伺いたい。

事務局 すいとぴあ江南については、江南市公共施設再配置計画の中で、現状では廃止の方針で決定されています。草井地区区長会、商工会議所、その他多くの方から、多方面にわたって存続を求める意見をいただいています。市長の考え方としては、そうした意見を真摯に受け止め、検討を重ね、任期中には、一定の道筋を立てると、議会の中でも答弁しています。残り2年半の市長の任期の中で、運営委員会等の意見も踏まえながら、最終的に決定するという状況です。

委員 事務局としては、今の回答が精一杯だと思う。多くの市民が存続してほしい、もっと賑やかになってほしいと思っており、知り合い等に自然と紹介できるような場所になれば良いと考えている。バーベキュー場の設置だけにこだわるのではなく、本当に、すいとぴあ江南を残していきたいと思っている。

事務局 次回の運営委員会は、来年の2月に開催を予定しています。